



〈最強寒波、交通を直撃〉

25日の最低気温はマイナス10℃。中国自動車道など西日本各地で通行止めが発生。25日、26日の2日間にわたり、荷物の配送が遅れました。

2023.02

はたけは
ひろいな
おおきいな

標高500mの山のとっぺん、世羅高原の畑から、畑の風と、採れたての野菜のある毎日をお届けします。農薬、化学肥料を使わずに育てました。



〈タマネギも雪の下〉

1月25日、畑の積雪は4cmとそんなに多くはありませんでした。タマネギも雪に覆われじっと寒さに耐えています。



〈ハウスの中も、寒いまま〉

25日はほぼ一日中氷点下。ハウスの中のカブの葉っぱも、しおっとなって下を向いたまま。24日世羅町で最大瞬間風速17m、1月の観測史上最大を記録。ハウス③の天井が一部破れました。



〈冬のラディッシュ、収穫です！〉

寒さのおかげです。ダンゴムシに食われることの少ない貴重な時期のラディッシュです。

それは虫たちが眠っているから

今季一番の強い寒気が入ってきた1月25日水曜日、ハウスの中に人参の種をまきました。天井の上に雪がのったままのハウスの中は薄暗く、人参の種をまく指先が凍るように痛いです。昨年11月末から時期をずらしながらの種まきの4回目。いくらかは抽苔してしまうのは覚悟のうえで、種まきをしてみています。

人参の種まきの基本は春と秋。なのになぜ、今、この時期に種をまくのかというと、それは虫たちが眠っているから…。発芽に時間がかかり、発芽した芽がゆっくりと大きくなる人参は、小さな芽が虫たちに食べられてしまうことが多く、まき直しをしてもまた食べられてしまったりするのですが、寒いこの時期だけは、虫たちに食べられることなくきれいに芽が出そろいます。

寒さのおかげで、今は、ハウスの中にアブラムシの姿も見えません。ダンゴムシもじっとおとなしくしています。が、ヤサイゾウムシの幼虫は、わさび菜や水菜の葉の根元に潜んで茎を食べています。！しっかりと50℃洗いをしてから使ってください！

〈2月の野菜〉

露地の畑

白菜、ネギ、大浦太ゴボウ、辛味大根、パースニップなどが収穫中。

ハウスの中

小カブ、コマツナ、水菜、ホウレン草、赤茎ホウレン草、わさび菜、赤リアスからし菜、ロケット、ラディッシュ、ミニ大根、黒丸大根、人参間引き菜などが収穫中。

中旬頃から、紅化粧、黄金カブなどの収穫が始まる予定です。

サトイモは、保存穴の中に保存しているものを出荷中。